

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	1 環境自治体の形成	シート作成日	平成31年2月15日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	美しい水郷・田園環境と共生する特色ある環境自治体の形成に向け、総合的な指針づくりのもと、多面的な環境・景観施策を計画的に推進します。	得られた成果	国や県との連携のもと、市内に生息する外来生物(ブラウジングアント)の分布調査及び防除作業を継続実施し、自然環境の保全に努めた。公害防止対策として、河川の水質検査、自動車騒音調査、地盤沈下、地下水位の観測を実施し、環境保全に努めることができた。
-------	--	--------	---

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
エコカーの導入台数(市庁舎)	台	8 (H29年)	12	B(50~74%)
河川の水質汚染濃度(宝川)(BOD)	mg/l	3.6 (H29年)	10.0	S(100%)
		(H年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
公害防止対策の推進	公害対策事業	公害対策事業	×	9	925	0.022	4	4	3	4	現状維持

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	<p>豊かな自然環境を将来に継承するため、自然の基盤である生物多様性の保全を推進する必要がある。引き続き市内14か所の水質検査を行い、良好な水質維持に努める。</p> <p>庁舎内における地球温暖化対策に取り組み、温室効果ガスの排出削減に努める。</p> <p>地域における環境美化活動の促進や公害防止対策の推進など、市民の生活環境の保全に努め、環境にやさしく快適で安全・安心なまちづくりを進めていく。</p>

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	2 上水道の充実	シート作成日	平成31年2月15日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	安全・安心な水の安定供給に向け、広域的連携のもと、海部南部水道企業団による給水体制の充実を進めます。	得られた成果	施設の老朽化対策及び地震等災害対策として、耐震性の低い接着接合の継手を有する塩化ビニル管更新事業を計画的に進め、安全な給水体制に努めました。
-------	--	--------	--

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
年間配水量	m ³	5,472,824	5,572,000	A(75~99%)
		(H 29 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
	該当事項なし										

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	引き続き、塩化ビニル管を始めとした耐震性の低い経年管の更新、その他管路や配水管の耐震化を進め、水道施設の老朽化対策及び災害対策を進めていきます。

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	担当部長名	開発部長 安井耕史
	施策項目	3 下水道の充実	シート作成日	平成31年1月29日

1 施策項目別の評価結果

達成度	③:あまり達成でききていない(40%以上)
-----	-----------------------

2 施策概要

目的と方針	美しく快適な居住環境づくりと河川等の水質保全に向け、市全域における污水处理施設の早期整備に努めます。	得られた成果	公共下水道整備は、全県域污水適正処理構想に基づく整備を推進し、平成29年度には新たに44.1haの面整備を完了しました。毎年、着実な面整備事業を推進し供用区域の拡大を図ります。
-------	--	--------	--

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
公共下水道事業計画区域面積	ha	277.3 (H29年)	300	A(75~99%)
污水处理人口普及率(合併処理浄化槽等含まず。)	%	49.9 (H29年)	44.0	S(100%)
下水道・排水処理施設の整備に関する市民の満足度	%	25.2 (H29年)	30.0	A(75~99%)
		(H 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
農業集落排水施設等の適正管理	コミュニティ・プラ ント管理事業	コミュニティ・プラ ント管理事業	○	3	10,465	0.245	4	4	4	4	現状維持
農業集落排水施設等の適正管理	農業集落排水施設管理事業	農業集落排水施設管理事業	○	3	255,384	1.019	4	4	4	4	現状維持
公共下水道事業の推進	公共下水道施設建設事業	公共下水道施設建設事業	○	3	1,084,846	3.750	4	4	3	4	拡大・充実
下水道事業の健全運営	公共下水道施設維持管理事業	公共下水道施設維持管理事業	○	3	100,703	1.026	4	4	2	4	現状維持

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	引き続き、市街化区域を中心とする人口集中地域を重点整備区域として公共下水道の整備を推進し、汚水処理人口普及率の向上を図る。併せて、下水道の接続促進に努め接続率の向上を図ります。

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	担当部長名	民生部長 村瀬美樹
	施策項目	4 廃棄物処理等環境衛生の充実	シート作成日	平成31年2月13日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

<p>目的と方針</p>	<p>循環型社会の形成に向け、広域的なごみ処理・リサイクル体制、し尿処理体制の充実を進めるとともに、3R運動※を促進します。</p> <p>また、市営墓地・火葬場の適正な維持管理に努めます。</p> <p>※リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生使用)運動</p>	<p>得られた成果</p>	<p>ごみ処理計画に沿った効率的なごみの収集を行うことができた。また、広域的連携のもと、海部地区環境事務組合による、ごみ及び資源の適正な処理ができた。市民の自主的なごみの減量化及び再資源化の意識向上が図られた。さらに、海部地区環境事務組合との広域的連携により、し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理ができた。墓地・火葬場施設は適切な運営及び維持管理等を行うことにより、火葬及び葬送行為が円滑かつ厳粛に執り行うことができた。</p>
--------------	---	---------------	---

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
家庭系ごみ排出量	t	9,062.2	8,700	A(75~99%)
		(H29年)		
事業系ごみ排出量	t	2,412.6	2,100	A(75~99%)
		(H29年)		
資源ごみ回収量	t	1,278.3	2,100	B(50~74%)
		(H29年)		
		(H年)		
		(H年)		
		(H年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
3R運動の促進	ごみ収集事業	ごみ収集啓発事業	×	9	870	0.034	3	4	1	4	方法改善
3R運動の促進	生ごみ処理機等設置事業	生ごみ処理機等設置事業	×	9	33	0.002	4	3	3	4	現状維持
ごみの不法投棄対策の推進	ごみ収集事業	不法投棄処理事業	×	2	5,807	0.103	4	4	2	4	現状維持
浄化槽の適正管理の指導	合併処理浄化槽設置整備事業	合併処理浄化槽設置整備事業	×	9	10,787	0.069	4	4	2	3	方法改善

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	<p>災害時に発生するごみを迅速かつ適正に処理できるように、収集・処理体制の確立を図っていく。(災害廃棄物処理計画の策定)</p> <p>引き続き啓発活動により、ごみ分別のさらなる徹底、ごみの減量化、資源化を促進するとともに、不法投棄の未然防止対策として巡回パトロールの継続や不法投棄防止用カメラの活用により、不法投棄の監視強化及び早期発見、早期回収に努める。</p> <p>下水道整備の進捗に伴い、今後は汲み取り量及び浄化槽汚泥量の減少が見込まれます。事業の合理化を図る中で許可業者とより一層の連携をとり、計画収集の徹底に努め、住民サービスの低下を招かないように収集の効率化を推進していく。</p> <p>火葬場施設の建替え(新築)を見据え、安定的かつ確実な火葬の執行と環境対策のため計画的な修繕を実施する必要がある。</p>

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	担当部長名	開発部長 安井耕史
	施策項目	5 公園・緑地の整備	シート作成日	平成31年2月15日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	レクリエーション・いこいの場、子どもの遊び場の確保と防災機能の向上、緑あふれる快適な環境づくりに向け、総合的な指針づくりのもと、公園・緑地、親水空間の整備及び緑化を推進します。	得られた成果	新たな公園等の設置はできませんでしたが、適切な管理のもと、身近な公園としての都市公園や子供の遊び場等により、市民にやすらぎの場を提供することができました。また、三ツ又池公園には市民参加による芝桜の植栽活動により観光等への一翼を担いました。
-------	--	--------	---

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
市民1人当たり都市公園面積	m ² /人	2.9 (H29年)	3.0	A(75~99%)
公園・緑地の整備に関する市民の満足度	%	26.3 (H29年)	31.0	A(75~99%)
地元の公園の維持管理に参加している市民の割合	%	35.0 (H29年)	40.0	A(75~99%)
		(H 年)		
		(H 年)		
		(H 年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
公園・緑地、親水空間の整備・保全	公園管理事業	北西公園管理事業	×	2	4,527	0.150	4	4	2	4	方法改善
公園・緑地、親水空間の整備・保全	公園管理事業	公園管理委託事業	○	3	33,680	0.172	3	4	3	3	現状維持

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	<p> 今後は、管理課を一元化し、維持管理の合理化を図り、多くの人に親しまれる空間を維持していきます。 また、市民参加による芝桜の植栽活動等は引き続き実施し、やすらぎと親しみを持った公園を目指します。 </p>

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	担当部長名	開発部長 安井耕史
	施策項目	6 治水安全度の向上	シート作成日	平成31年2月15日

1 施策項目別の評価結果

達成度	②:まあまあ達成できている(60%以上)
-----	----------------------

2 施策概要

目的と方針	<p>海抜ゼロメートル地帯という土地条件や東日本大震災の教訓を踏まえ、国・県との連携のもと、海岸や河川の整備、排水対策等を促進し、治水安全度の一層の向上を図ります。</p>	得られた成果	<p>未整備であった準用河川の整備が行われ、治水安全度の向上が図られました。また、一・二級河川の地震・津波・高潮対策の整備促進を、国・県に対して要望活動を行いました。</p>
-------	--	--------	---

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
準用河川改修の整備率	%	97.1 (H29年)	94.1	S(100%)
津波・緊急避難ビル指定箇所数	箇所	49 (H 29年)	55	A(75~99%)
公共施設屋上避難場所数	箇所	15 (H 29年)	7	S(100%)
河川改修や雨水排水対策の充実に関する市民の満足度	%	23.1 (H 29年)	20.0	S(100%)
		(H 年)		
		(H 年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
河川整備の促進	河川維持事業	準用河川維持事業	×	1	72,535	0.600	4	4	3	3	現状維持

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	↓ (縮小)	→ (現状維持)	<p>準用河川の整備は、概ね完了したが、鉄道施設の横断工作物の箇所が残っており、その改修時に併せて整備を図っていきます。</p> <p>一・二級河川の整備について、引き続き国・県に対して、早期着手を要望していきます。</p>

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	担当部長名	総務部長 渡辺秀樹
	施策項目	7 消防・防火の充実	シート作成日	平成31年1月29日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	東日本大震災の教訓や東海・東南海・南海地震の被害想定等を踏まえ、あらゆる災害に強い安全・安心なまちづくりを進めるため、消防・防災体制の充実を図ります。	得られた成果	防災訓練の実施により、防災意識の啓発及び地域防災力の向上に努めた。 自主防災会などの防災資機材の購入に対して補助し、自助、共助の取組を支援した。 消防団員の確保、資機材の整備を行い、各種訓練を実施し団員間の意思の疎通を図り、消防力の維持向上を図った。
-------	---	--------	---

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
防災ボランティアの数	人	244 (H29年)	220	S(100%)
自主防災会の数	組織	65 (H29年)	72	A(75~99%)
企業等との災害時協定の締結数	件	57 (H29年)	25	S(100%)
避難計画策定地区数	地区	6 (H29年)	9	B(50~74%)
		(H年)		
		(H年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
常備消防・救急体制の充実	消防団運営事業	消防団運営事業	×	1	37,249	0.757	4	4	2	4	拡大・充実
消防施設・設備の整備	消防設備整備事業	消防設備整備事業	○	3	4,668	0.380	4	4	3	4	現状維持
総合的な防災・減災体制の確立	防災会議事務事業	防災会議事務事業	×	1	1,956	0.053	4	4	3	4	拡大・充実
総合的な防災・減災体制の確立	防災訓練事業	防災訓練事業	○	4	1,866	0.053	4	4	3	3	拡大・充実
総合的な防災・減災体制の確立	自主防災組織育成事業	自主防災組織育成事業	○	4	11,039	0.380	4	4	3	3	拡大・充実

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	<p>災害発生時に避難行動に時間を要する避難行動要支援者の迅速な避難を促進していく。</p> <p>自主防災組織未結成地区に対する結成を促進するとともに、既結成地区における活動を引き続き支援していく。</p> <p>大規模災害発生時には、職員のみでの災害対応は限界があり、消防団員の活動が非常に重要となることから、平時から団員の確保、資機材の整備を進めていく。</p>

平成30年度施策評価シート(平成29年度実施施策)

総合計画	政策目標	2 快適で安全・安心なやとみ	担当部長名	総務部長 渡辺秀樹
	施策項目	8 防犯・交通安全の充実	シート作成日	平成31年1月29日

1 施策項目別の評価結果

達成度	②:まあまあ達成できている(60%以上)
-----	----------------------

2 施策概要

目的と方針	犯罪や事故のない安全・安心なまちづくりに向け、警察・団体、市民との連携のもと、防犯体制、交通安全体制の強化を図ります。	得られた成果	警察、自主防犯団体による啓発パトロールにより安全確保ができた。 警察と連携し交通安全キャンペーンなどの実施や小学校通学路を中心として交通安全街頭指導を交通指導員などが行い事故防止・啓発を図った。 放置自転車の数は、年々減少してきている。
-------	---	--------	--

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年)	評価 (達成度)
		(時点)		
防犯灯設置箇所数	箇所	5,570 (H29年)	5,700	A(75~99%)
犯罪発生件数	件	424 (H29年)	500	A(75~99%)
交通事故発生件数	件	253 (H29年)	230	C(25~49%)
交通事故死者数	人	2 (H29年)	0	C(25~49%)
交通事故負傷者数	人	315 (H29年)	300	C(25~49%)
		(H 年)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
防犯に関する啓発等の推進と自主防犯活動の促進	防犯対策事業	防犯対策事業	×	2	25,842	0.763	4	4	3	4	現状維持
交通安全に関する啓発等の推進	交通安全啓発事業	交通安全啓発事業	×	2	4,063	0.320	4	4	3	4	現状維持
交通安全に関する啓発等の推進	交通指導員設置事業	交通指導員設置事業	×	2	9,073	0.220	4	4	3	4	方法改善
交通安全に関する啓発等の推進	駐輪場及び放置自転車関係事業	駐輪場及び放置自転車関係事業	×	7	7,112	0.471	3	4	3	3	民間委託等
交通安全に関する啓発等の推進	放置自動車対策事業	放置自動車対策事業	×	2	538	0.150	4	4	3	4	現状維持

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	<p>「自らの安全は自らが守る。」、「地域の安全は地域で守る。」の意識の高揚を図るため自主防犯団体の育成・支援に取り組んでいく。 警察・教育委員会等と情報の連携・共有化により、市民への迅速な情報提供を図っていく。 子どもから高齢者まで、各世代に応じた交通安全教育の拡大・充実を図っていく。 放置自転車については、警告札の貼付、放置禁止区域の周知、自転車等駐車場の利用の呼びかけを継続的に行っており、放置台数は年々減少してきているが、依然として年間約200台の自転車等が放置されており、長期的な課題として取り組んでいく必要がある。</p>